

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 5 部門第 2 区分
 【発行日】平成 24 年 12 月 20 日 (2012.12.20)

【公表番号】特表 2011-501066 (P2011-501066A)
 【公表日】平成 23 年 1 月 6 日 (2011.1.6)
 【年通号数】公開・登録公報 2011-001
 【出願番号】特願 2010-530267 (P2010-530267)
 【国際特許分類】

F 1 6 F 15/139 (2006.01)

F 1 6 F 15/129 (2006.01)

F 1 6 H 45/02 (2006.01)

【F I】

F 1 6 F 15/139 C

F 1 6 F 15/129 C

F 1 6 H 45/02 Y

【手続補正書】
 【提出日】平成 23 年 10 月 11 日 (2011.10.11)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

直列ダンパにおいて、直列ダンパが、以下の構成部材：すなわち、

1 つのフランジと 1 つのカバープレートとを備えた第 1 のダンパを有しており；

第 1 および第 2 のカバープレートと 1 つのフランジとを備えた第 2 のダンパを有しており、第 1 のダンパのフランジとカバープレートとが、回転に関して摩擦接続的に係合しており、第 2 のダンパのフランジが、第 1 および第 2 のカバープレートに摩擦係合なしに自由に回転させられるようになっていることを特徴とする、直列ダンパ。

【請求項 2】

直列ダンパが、可撓性のエレメントを有しており、該可撓性のエレメントが、第 1 のダンパのフランジとカバープレートとの摩擦係合を形成するために調整されている、請求項 1 記載の直列ダンパ。

【請求項 3】

可撓性のエレメントが、第 1 のダンパのカバープレートに摩擦接続的に係合していて、トルクコンバータのタービンハブ内に摩擦接続的に係合するために調整されている、請求項 2 記載の直列ダンパ。

【請求項 4】

可撓性のエレメントが、第 1 のダンパのフランジに相対回転不能に結合されている、請求項 2 記載の直列ダンパ。

【請求項 5】

第 1 のダンパのフランジとカバープレートとの間の摩擦接続的な係合が、第 1 のダンパのねじりの間に形成されるようになっている、請求項 3 記載の直列ダンパ。

【請求項 6】

第 1 のダンパのカバープレートが、少なくとも 1 つのスリットを有しており、第 1 のダンパに対するフランジが、少なくとも 1 つの延長部を有しており、該延長部が、少なくとも 1 つのスリット内に少なくとも部分的に配置されており、第 1 のダンパのカバープレ

トと、少なくとも１つのスリット内の少なくとも１つの延長部との間に遊びが存在している、請求項１記載の直列ダンパ。

【請求項７】

第１のダンパのフランジが、第２のダンパに対する第２のカバープレートを有している、請求項１記載の直列ダンパ。

【請求項８】

直列ダンパが、環状のエLEMENTを有しており、該環状のエLEMENTが、第１のダンパのフランジに相対回動不能に結合されており、可撓性のエLEMENTが、環状のエLEMENTを第１のダンパのカバープレートに向かって押圧している、請求項２記載の直列ダンパ。

【請求項９】

可撓性のエLEMENTが、第１のダンパのカバープレートに相対回動不能に結合されている、請求項８記載の直列ダンパ。

【請求項１０】

第１のダンパのフランジが、第２のダンパのカバープレートを有している、請求項８記載の直列ダンパ。